

# への

# 市議会だより

73号

令和6年  
11月15日発行



## 9月定例会

### — CONTENTS —

定例会及び決算の概要	2
決算特別委員会	4
主な議案	6
討論・活動報告	7
常任委員会での審議	8
審議結果、賛否の公表	9
一般質問	10
意見交換会	15
議員定数を考える会	16
クイズ、ご意見	17
声のひろば	18

## 「第46回浄法寺漆共進会」

岩手県浄法寺漆生産組合は第46回浄法寺漆共進会を開催しました。令和6年に生産した漆の品質が審査され、表彰が行われました。



YouTubeでネット中継配信

二戸市議会 ネット中継





9月  
定例会

令和5年度決算全9会計を認定

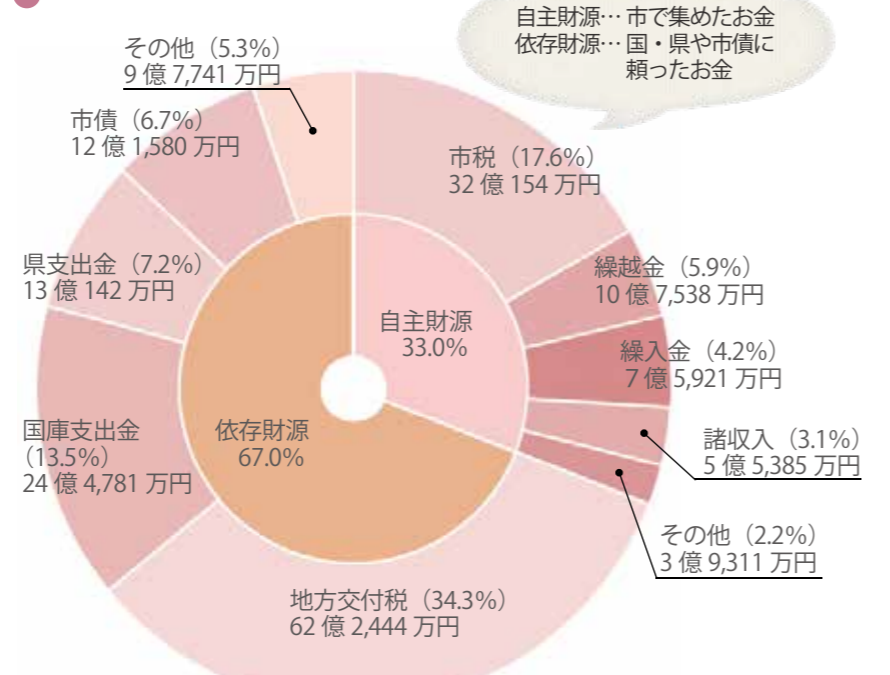


一般会計の  
主な使い道

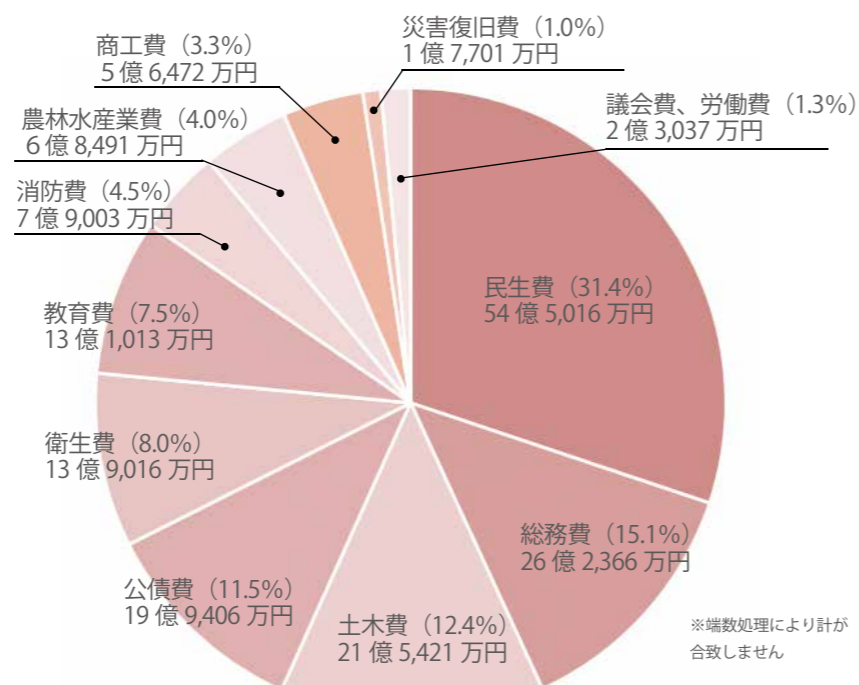
こんな事業に使われました

- 民生費** (高齢者、児童など福祉にかかるもの) **54億5,016万円**
  - 電力・ガス・食料品等価格高騰対策支援給付金給付費 3億2,220万円
  - 物価高騰対応重点支援臨時給付金事業 1,141万円
- 総務費** (情報管理、市バス運行、まちづくり、職員人件費など) **26億2,366万円**
  - 地域型次世代省エネ住宅推進補助金 240万円
  - 公民連携まち再生事業 3,586万円
- 土木費** (道路や河川の整備・維持にかかるもの) **21億5,421万円**
  - 道路新設改良舗装事業 3億3,783万円
  - 公営住宅管理事業 2,257万円
- 教育費** (小中学校、学校給食、社会教育事業などにかかるもの) **13億1,013万円**
  - 統合型校務支援システム整備事業 242万円
  - 高校魅力化推進事業 873万円
- 衛生費** (予防接種、ごみ処理などにかかるもの) **13億9,016万円**
  - 不妊治療費助成金 101万円
  - 新生児拡大マスクリーニング検査実施補助金 49万円
- 消防費** (消防活動、消防施設整備などにかかるもの) **7億9,003万円**
  - 非常備消防活動事業 8,706万円
  - 御返地地区防災センター整備事業 1,450万円
- 農林水産業費** (農地整備、農家支援などにかかるもの) **6億8,491万円**
  - 農作物災害復旧対策事業補助金 389万円
  - 農産物鳥獣被害対策事業補助金 122万円
- 商工費** (観光イベント、漆振興、企業誘致などにかかるもの) **5億6,472万円**
  - 塗掻き職人育成事業 443万円
  - 産業まつり補助金 300万円

一般会計決算内訳



歳入 181億4,997万円



歳出 173億6,942万円

決算の概要

9月定例会は、9月5日から25日までの21日間開催され、本会議や委員会などで活発な議論が交わされました。審議の結果、市長から提出された令和5年度決算認定9件と、補正予算案等の議案14件を審査し、全て原案のとおり認定・可決しました。また、報告事項3件が行われたほか、人権擁護委員候補者の推薦に関する諮問1件を適任とし、発議案1件を可決しました。一般質問では8人の議員が登壇し、市政や教育行政全般について市の見解を求めました。

令和5年度の一般会計と各特別会計の歳入歳出決算を総括すると、歳入決算総額は238億2109万円（前年度比5・53%減）、歳出決算総額は229億8238万円（前年度比4・35%減）となっています。歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は8億3871万円、この形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源1億467万円を差し引いた実質収支は7億3404万円の黒字となっています。また、当年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は2億8400万円の赤字、基金積立金や基金取崩額を勘案した実質単年度収支は、2億4037万円の赤字となっています。

会計別決算状況

区分	歳入	歳出	差引額	
一般会計	181億4,997万円	173億6,942万円	7億8,055万円	
特別会計	国民健康保険 事業勘定	26億7,702万円	26億7,071万円	631万円
	国民健康保険 診療施設勘定	2億669万円	2億100万円	569万円
	下水道事業	7億7,368万円	7億5,499万円	1,868万円
	生活排水処理事業	5,254万円	4,723万円	531万円
	簡易水道事業	1億3,820万円	1億3,484万円	336万円
	土地区画整理事業	14億8,238万円	14億6,713万円	1,525万円
	介護サービス事業	0万円	0万円	0万円
後期高齢者医療	3億4,061万円	3億3,707万円	355万円	
計	238億2,109万円	229億8,238万円	8億3,871万円	

区分	収入	支出	差引額	
水道事業会計	収益的収支 (税抜)	6億6,011万円	6億2,692万円	3,319万円
	資本的収支 (税込)	3億7,040万円	6億4,556万円	△2億7,516万円
不足額2億7,516万円は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税資本的収支調整額で補っています。				

※端数処理のため計が一致しない部分があります。





# お金の使い道をチェック！ 決算特別委員会

全議員で構成する決算特別委員会では、委員長に駒木昇議員が、副委員長に土佐野淳議員が選出されました。

決算特別委員会と所管の分科会において詳細にわたり審査をした後、最終日に各分科会の報告を受けて採決が行われました。決算特別委員会において審議し採決した結果、令和5年度一般会計と7つの特別会計、水道事業会計の計9会計、全ての歳入歳出決算を「認定すべきもの」と決しました。

## 委員会での質疑

### 5年度決算全体

#### 滞納について

問 市税及び税外収入における滞納について、突き詰めて徴収しなければ、税の公平負担性に欠けると思う。市長及び教育長の所見を伺う。

答 税、税外収入等は市の財政等を動かす貴重な財源である。徴収に際しては、公平公正に、根拠法令、条例等に基づき、しっかりとやっていかねければならない。きちんと払ってもらわないという姿勢は崩さずやっていきたいと思っている。

答 学校給食においては、食材費は保護者に負担いただくことを説明してきた。納付をぜひともお願いしたい。

#### 起債について

問 合併当初平成18年度の起債残高19.1億が、現在は約14.5億の残高となり、この間47億ほど残高が減ってきている。順調に推移していると思うが、今起こしている起債で、交付税バックのある起債の比率はどの程度か。

答 全体の約17.7億のうち、合併特例債、過疎対策事業債、財源対策債、臨時財源対策債など交付税措置の大きい起債が約13.0億であり、約70%が交付税措置の有利な起債である。

#### 5年度国民健康保険特別会計

問 国民健康保険税の均等割は新生児でもかかっている。均等割について市長の考えをお聞かせいただきたい。

答 子供の均等割を軽減する支援制度を拡充することについて、引き続きお願いしてまいりたい。

#### 5年度後期高齢者医療特別会計

問 これまでは、滞納者の方で短期被保険者証を交付される方がいたが、令和5年度は交付がされていない。短期被保険者証交付についての考え方の変更あるいは交付の基準の変更があったのか。

答 若手県後期高齢者医療短期被保険者証交付措置に要する要綱に基づいて交付しており、考え方は変わっていない。

## 討論



### 令和5年度一般会計決算

賛成 島中 泰子 議員

令和5年度は、新入学児童学用品支給事業、農作物災害に対する農家への補助金など前向きな取組が見られた。特に子育て施策の拡充は、例年になく取り組んだものと評価する。一方、カタルミライに対する支援は、市民の理解は得られなかったと感じている。また、不登校児童生徒、一人ひとりに寄り添ったサポートが必要であり、人的体制の強化など取組が必要である。様々な諸課題に対する今後の積極的な取組を求めて賛成する。

賛成 戸来 守和 議員

令和5年度は、長期化する物価高騰の諸課題に取り組む市の姿勢が見られた。飼料に関わる補助、各事業者に対する光熱費補助など、経済活動の停滞を防ぐ施策の実施を評価する。また、福祉、教育分野でも、光熱費補助など物価高騰対策、令和6年度の二戸市健康づくり都市宣言にもつながる介護フレイル予防事業の展開、生殖補助医療費助成事業なども評価する。限られた一般財源の中で、有利な国、県の財源を確保し、市政全般を進めたこと評価し賛成する。

## 総務分科会

### 5年度一般会計決算

【選挙管理委員会所管分科会】  
問 各選挙の期日前投票の人数の割合は。また、期日前投票と当日投票の割合は。

答 期日前投票の割合は、市議会議員選挙が有権者全体の31・95%。知事選挙が、有権者全体の30・96%である。投票率の割合は、投票をした約6割の方が期日前投票、残り4割の方が当日投票となっている。

【市民部所管分科会】  
問 立会いをお願いした高校生から意見や感想はあったか。

答 選挙に対しての知識、考えが深まった。近くの人にも選挙があれば来てほしいと話を広めたい、等の意見があった。

【市民部所管分科会】  
問 今後の方向性は。

答 コミュニティバスとデマンド交通、デマンドバスと併せて適切な準備範囲を検討する必要があらう。



投票率の向上や投票意識の醸成に寄与した企画です。

## 文教福祉分科会

### 5年度一般会計決算

【フレイル予防事業の決算内容】

問 事務2名、歯科衛生士1名の人件費になる。委託料は運動による健康増進で一般社団法人二戸市体育協会に委託している。使用料は温泉施設を利用した健康教室やパークゴルフ場、介護フレイル予防事業講演会の施設料、講師の謝礼となる。

答 令和5年5月から県立二戸病院での検査も始まり妊娠届等の際は無料で検査できる事を知らせている。特定不妊治療は妊娠に結びついた方には大変喜ばれている。新規2事業は2度広報にのべに掲載しており妊婦の健診の際も周知に努めている。

【拡大マスキング検査助成と生殖補助医療費助成事業の周知状況】

問 令和5年5月から県立二戸病院での検査も始まり妊娠届等の際は無料で検査できる事を知らせている。特定不妊治療は妊娠に結びついた方には大変喜ばれている。新規2事業は2度広報にのべに掲載しており妊婦の健診の際も周知に努めている。

【市民文化会館の管理費】

問 4041万4千円の大ホール照明器具改修工事等で、指定管理料は令和3年から7年まで同額であるが令和5年度は燃料等の物価高騰を反映し約7500万円になっている。

【高額療養費の該当者に対する通知状況】

問 県の事務処理標準等で勧奨を行う事とされており当市でも実施している。5年度は2359件の勧奨を行い通知漏れはない。

【ワクチン予防接種で感染症予防を】

問 高額の接種料の細は。答 金田一診療所のコロナワクチン接種回数は1889件、インフルエンザワクチン予防接種は805件、浄法寺診療所はコロナワクチン接種が604件、インフルエンザワクチン予防接種は742件である。

## 産業建設分科会

### 5年度一般会計決算

【農地の利用意向調査】

問 意向調査の結果と今後の対応は。

答 268軒で実施し、回答の内訳は、「自ら耕作する」が10%、「農地中間管理事業を利用したい」が31%、「自ら賃貸借、相手を探す」が7%、「その他、まだ分からない」が50%を超えた。調査は、利用度の低い場所の調査となっていることから、次の利用につなげることは難しく、非農地判断をしていくものもある。所有者の意向と現状を把握し、進めていきたい。

【道路橋梁費】

問 市道の改良率・舗装率は。答 市道総延長786・56キロメートルで、令和5年度の改良延長は、308・44キロメートルで、改良率は39・2%、



令和5年度に緊急自然災害防止対策事業として、1億2800万円で補修工事が行われた市道五日町在府小路線

### 5年度簡易水道事業特別会計決算

#### 【斗米地区簡易水道】

問 人口普及率がまだ50%をきっている要因は。

答 平成18年から給水を開始しているが、時代背景が代わり、高齢化が進み、工事費負担が難しくなってきたのかと考える。水質の良さを理解していただけるよう毎年2回、全項目水質検査結果を示しながら、若い人の世帯に声かけをしている。



### 決算認定以外の 主な議案

#### 条例

○地方自治法の一部を改正する法律の公布に伴う関係条例の整理に関する条例 **可決**  
令和6年6月26日に、地方自治法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、関連する条例の整理をしようとするもの。

○二戸市印鑑条例の一部を改正する条例 **可決**  
個人番号カード又は移動端末設備の利用による、多機能端末機での印鑑登録証明書交付に対応するため、所要の改正を行うもの。

○二戸市子ども、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例 **可決**  
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の公布に伴い、所要の改正をしようとするもの。

○二戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例 **可決**  
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律（令和5年法律第48号）による、国民健康保険法の一部

改正により、現行の被保険者証が廃止となることから、所要の改正をしようとするもの。

#### 議決案件

○財産（土地）の処分について **可決**  
特別養護老人ホーム白梅荘の施設用地として処分することについて議決を求めるもの。

#### 補正予算

○令和6年度二戸市一般会計補正予算（第4号） **可決**  
補正額 6億1589万円  
前年度決算に伴う繰越金6億8925万円の予算化や、農産物鳥獣被害対策事業費補助金などに係る経費を計上するもの。

【主な内容（歳出）】  
・農産物鳥獣被害対策事業費補助金 80万円  
・申請件数の増に伴う補助金の増。

・学校教育情報活用推進事業費 774万円  
・小中学校において使用するタブレットの更新を踏まえ通信環境の調査を行うための委託料。

○令和6年度二戸市一般会計補正予算（第5号） **可決**  
補正額 186万円  
【内容（歳出）】  
・二戸市総合スポーツセンター186万円  
・二戸市総合スポーツセンターの防災盤や、光電式分離型感知器等を更新するもの。

#### 報告

○令和5年度二戸市健全化判断比率及び経営健全化資金不足比率の報告について **可決**  
◆要旨 健全化判断比率において、実質赤字は生じておらず、実質公債費比率、将来負担比率も早期健全化基準を下回っているため、良好な状態である。また、経営健全化資金不足比率において、資金不足は生じておらず、良好な状態である。

#### 議員発議

○教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書 **可決**  
さらなる少人数学級について検討すること、義務標準法の基礎定数および加配定数の増員による教職員定数改善を推進すること、加配の削減は行わないこと、義務教育費国庫負担制度の

#### 議案審議

財産（土地）の処分について

負担割合を引き上げることなどを政府に求めるもの。



○岩手県の地価動向の調査、交通施設の状態、道路整備の状態、上下水道、ガス等の整備の状態、商業施設の状態、将来の動向、二戸市の地価の動向、市場の需給動向、近隣地域の状況、近隣地域の不動産の取引の状況、公法上の規制、危険、嫌悪施設等周りにないか、標準画地、標準的な使用と地価水準などから導き出されている。

○当該土地の路線価は1万円を超えているとのことだが、そのなると当該土地の鑑定額は安くないのでは。 **可決**

説明した路線価は、固定資産の路線価である。固定資産税を導き出す際に、当該地区の標準的な宅地の大きさを基本とするため、地域によって標準的な宅地の大きさが変わってくる。標準的な宅地であるため、居住地として使用する宅地を基本として出されている標準宅地からの路線価である。今般売却する土地は、5000平米を超えており、地積過大という部分で大幅な減額補正が入る。その他、道路からの高低差、敷地内の高低差、その他の要因で様々な補正がかかるが、当該土地は地積過大が最大の要因で減額補正がかかっている。

### 討論



二戸市子ども、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例 **反対**  
泉中 泰子議員

マイナ保険証を使うかは任意である。任意の制度を普及するために健康保険証を廃止することは、道理が無いと考える。健康保険証の廃止は、世界に誇る国民皆保険制度を破壊するものである。政府は、保険証廃止を撤回し、保険証を残すよう見直すべきと考える。以上より、健康保険証を廃止することを内容とする本条例案に反対する。

二戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例 **反対**  
田口 一男議員

マイナ保険証に対応するため、政府が進めてきたオンライン義務化は、小規模的な診療所には厳しい状況である。オンライン化できず、廃業に追い込まれるなど地域医療に大穴があくことが懸念される。健康保険証の廃止は、世界に誇る国民皆保険制度の破壊である。経過措置とはいえ、以上のことから反対する。

教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書 **反対**  
田川 晃議員

高等学校は、市議会の所管ではない。また、当市の問題は、さらなる少人数学級の検討ではない。学校統合が進められる等、少な過ぎることのほうの問題である。市の実態を把握されていない意見書ではないか。  
働き方改革、長時間労働是正については、各学校の実情に応じた取組が必要のため、教育委員会の計画等後押しが重要であり、教職員を増やすだけでは改革はできない。これらのことから、意見書の提出は必要ないと考え、反対する。

### 議会活動の報告 (8月から10月)

- 8月
  - 5日
    - 広聴広報委員会 広報部会
    - 議員定数等調査検討特別委員会
  - 6日
    - 福岡中学校との意見交換会
  - 7日
    - 議員全員協議会
  - 26日
    - 議員定数等調査検討特別委員会
  - 27日
    - 議会運営委員会
  - 29日
    - 臨時会
    - 議員全員協議会
    - 会派代表者会議
- 9月
  - 3日
    - 議会運営委員会
  - 5日～25日
    - 9月定例会



- 12日
  - 議員定数等調査検討特別委員会
- 18日
  - 議会運営委員会
- 25日
  - 議会運営委員会
  - 議員全員協議会
  - 広聴広報委員会 広報部会
- 10月
  - 2日
    - 閉会中の文教福祉常任委員会
  - 3日
    - 閉会中の総務常任委員会
  - 8日
    - 議員定数等調査検討特別委員会
  - 15日
    - 議員全員協議会
    - 広聴広報委員会 広報部会
  - 16日
    - 議員定数等調査検討特別委員会
  - 18日
    - 閉会中の総務常任委員会
  - 30日
    - 閉会中の産業建設常任委員会



審議結果

議案等	議案名等	審議結果
議案	地方自治法の一部を改正する法律の公布に伴う関係条例の整理に関する条例	可決 (全員賛成)
	二戸市印鑑条例の一部を改正する条例	可決 (全員賛成)
	二戸市子ども、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例	可決 (賛成多数)
	二戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決 (賛成多数)
	財産(土地)の処分について	可決 (全員賛成)
	岩手県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更の協議について	可決 (賛成多数)
	令和5年度二戸市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決 (全員賛成)
	令和6年度二戸市一般会計補正予算(第4号)	可決 (全員賛成)
	令和6年度二戸市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決 (全員賛成)
	令和6年度二戸市土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	可決 (全員賛成)
	令和6年度二戸市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決 (全員賛成)
	令和6年度二戸市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決 (全員賛成)
	令和6年度二戸市水道事業会計補正予算(第2号)	可決 (全員賛成)
	令和6年度二戸市一般会計補正予算(第5号)	可決 (全員賛成)
認定	令和5年度二戸市一般会計歳入歳出決算認定について	認定 (全員賛成)
	令和5年度二戸市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定 (賛成多数)
	令和5年度二戸市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定 (全員賛成)
	令和5年度二戸市生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定 (全員賛成)
	令和5年度二戸市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定 (賛成多数)
	令和5年度二戸市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定 (全員賛成)
	令和5年度二戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定 (賛成多数)
	令和5年度二戸市水道事業会計決算認定について	認定 (全員賛成)
諮問	人権擁護委員候補者の推薦について	適任 (全員賛成)
報告	令和5年度二戸市健全化判断比率及び経営健全化資金不足比率の報告について	報告
	令和5年度非強制徴収債権の放棄の報告について 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告について	報告
発議	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	可決 (賛成多数)

賛否の公表 採決で賛否が分かれた案件の結果です。

議案名	土佐野 淳	高村 人司	柴田 清克	堀野 忠教	菅原 規正	戸来 守和	國分 敏彦	駒木 昇	田川 晃	沼井 賢壮	小田島行伸	出堀 満則	岩崎 敬郎	新畑 鉄男	梶中 泰子	田口 一男	内沢 真申	田代 博之
二戸市子ども、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○
二戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○
岩手県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更の協議について(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○
令和5年度二戸市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○
令和5年度二戸市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○
令和5年度二戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○
教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議	○

※ 議長は採決には加わりません。 ※ 「議」は議長、「○」は賛成、「×」は反対

総務常任委員会

令和6年度二戸市一般会計補正予算(第4号)

二戸市印鑑条例の一部を改正する条例

証明書の申請様式の具体的な変更点は、また、コンビニ交付で取得可能な期間と時間は、

証明書の、男女の別の記載が削除となる。申請様式も12月2日以降対応分から男女の別を記載する項目が削除となる。コンビニ交付では、年末年始、12月29日から1月3日まで、及び、システムのメンテナンス等が入った場合以外の日の6時半から23時までが取得可能となる。

コンビニ交付の場合と窓口での交付手数料の違いはあるか。  
手数料は、同額の200円で予定している。



全国のコンビニで交付できるようになります。

文教福祉常任委員会

象が18歳年度末から高校生年代までになる。最後に所得制限に伴う特例給付がなくなり、全員本則給付になる。

売却契約の内容は、通常の土地売買契約となる。土地の利用計画、方針は伺っており少なくとも20年は使いつける意向を確認している。

令和6年度二戸市一般会計補正予算(第4号) 白梅荘の土地使用料はいつから減額になるのか。  
年度途中で賃貸借契約に変更が生じた際は月割りに計算になり、議決を受けての手続き完了を9月末と見込んでいます。

児童手当給付費の制度改正の内容は、  
第一に第3子以降の制度拡大で、現在1万5千円のもの3万円になる。さらに適用範囲と加算規定が、小学生までだったものが高校生まで拡大される。加算規定も拡大され18歳までの子供3人というものが新たに22歳までの第3子が対象となる。第一に支給対象が18歳年度末から高校生年代までになる。最後に所得制限に伴う特例給付がなくなり、全員本則給付になる。



児童手当の適用範囲などが拡大される。

女性相談支援員への相談はどのようなものか。  
本人が来所するケースに加え、児童相談所、学校、保育所、その他様々な関係機関からの情報提供がある。来所や電話、訪問による相談支援の充実を図るため、学校への周知に加え様々な機会を捉えて周知していきたい。

ネットワークアクセスメント調査委託料の内容は、  
ネットワーク構成、設定の調査、学校内の有線設置場所、電波の干渉の有無、インターネット上の通信速度調査等である。期間は3ヶ月を見ている。

産業建設常任委員会

令和6年度一般会計補正予算(第4号)

漆原木確保対策事業費補助金は、

農地植栽の苗木購入費に対する補助金で、当初、申請を5400本と見込んでいたが、現時点で1万710本の申請となっており、増額補正するもの。秋の植栽には、5650本の申請がきている。

電気柵設置の延長は、  
申請件数の増加に伴う増額で、今回の補正予算80万円により、電気柵の総延長は約1キロメートルの範囲を確保することを想定している。

環境保全型農業直接支払交付金は、  
交付する団体、栽培内容は、



市の補助金を活用して、鳥獣の侵入防止のために設置された電気柵 (仁左平地区)

有機農業を始めとした環境保全の効果が高い事業に取り組む組織に対して、面積に応じて支援をするもので、現在、二戸市では1組織となっている。当初、6名で組織し、今年度1名増えて力ボチャの有機栽培に取り組みことから増額するもの。当組織は、蕎麦やヒエ等の雑穀、カブやキャベツ等の野菜に取り組んでいる。



# 市政を問う！

一般質問は、議員が市政全般にわたり事業の執行状況や考え方などを執行機関に質問するものです。本定例会では8人の議員が、下記の項目について質問に立ちました。



再質問に答弁する藤原市長と、加藤教育長

**菅原 規正 議員・・・P10**  
1 二戸市ふるさと納税について  
2 特産物の販売強化について

**田川 晃 議員・・・P11**  
1 聴覚補助器等の積極的な活用について  
2 調整給付金支給確認書の申請について

**戸来 守和 議員・・・P11**  
1 災害発生時の対応について

**高村 人司 議員・・・P12**  
1 地域産業教育連携協議会について  
2 スポーツツーリズムについて  
3 市内小・中学生スポーツ活動指針について

**田口 一男 議員・・・P12**  
1 スポーツ施設の稼働率向上について  
2 マイナ保険証への移行について

**土佐野 淳 議員・・・P13**  
1 2024年度全国学力・学習状況調査の結果について  
2 学校図書館支援員の配置について  
3 通学時の歩道除雪について

**岩崎 敬郎 議員・・・P13**  
1 拠点観光地づくりについて  
2 市内小学校の未来について

**畠中 泰子 議員・・・P14**  
1 物価高騰、米不足と農業  
2 利用が低調なマイナ保険証  
3 水道事業でのPFAS（有機フッ素化合物）の現状と取り組み



田川 晃 議員

軟骨伝導イヤホンの導入の  
活用事例も増えているため  
検討している  
考えは

聴覚補助器等の積極的な活用について

調整給付金支給確認書の申請について

場合、機械的に辞退とみなされてしまつたのか。

**問** 日本の難聴者は人口の10%で、約1300万人。補聴器所有率は難聴者の僅か15.2%で約200万人。残り1100万人以上が聞こえにくい状況と推察される。本年6月、花巻市が軟骨伝導イヤホンを導入しており、音声が入りやすく、音がクリアで聞こえやすいと好評。全国的に自治体や金融機関の窓口などで同イヤホンを導入する事例がある。軟骨伝導イヤホン導入の考えは。

**答** 市長 対象者の支給金額が異なる初めての給付制度であるため、支払い金額の確認や、マイナンバーカードで公金受取口座を登録して利用できる方が対象者の全員ではないことから受取口座の登録にかかわらず、給付金の対象となる皆さんが申請と受給が同条件となる従来どおりの方法を選択した。

**問** 返送期限までに返信がない場合や記入漏れ、チェック漏れ、提出書類の不備がある場合、給付を受けられませんかあるが、そのような

**答** 市長 確認書の提出がない方には、再度提出のお願いを手紙でお知らせをする。また、添付書類を含め1件ずつ内容を確認し、不足、不備があった場合は電話、書き直し等の依頼をしている。

**問** 市内指定避難所の防災用品備蓄状況は。市総合福祉センターの2か所で基本的に管理している。食料品は3食3日分、水に関しては1日3リットル2日間で約300人分の備蓄をしている。毛布は1500枚、組み立て式トイレは本体6基、その他衛生用品など災害時に必要と思われるものを備蓄している。また、後方支援拠点としての市の防災倉庫に県の備蓄物資を保管しており、災害時には県の物資も割り当てられるため市の物資と合わせて災害状況に応じた対応が可能となっている。大規模災害時は、市単独の備蓄では賅えるものではないため、県や近隣市町村と広域的

**答** 市長 防災倉庫と市総合福祉センターの2か所で基本的に管理している。食料品は3食3日分、水に関しては1日3リットル2日間で約300人分の備蓄をしている。毛布は1500枚、組み立て式トイレは本体6基、その他衛生用品など災害時に必要と思われるものを備蓄している。また、後方支援拠点としての市の防災倉庫に県の備蓄物資を保管しており、災害時には県の物資も割り当てられるため市の物資と合わせて災害状況に応じた対応が可能となっている。大規模災害時は、市単独の備蓄では賅えるものではないため、県や近隣市町村と広域的

**問** 二戸市ふるさと納税のこれから取り組みについて伺う。

**答** 市長 新規返礼品の登録をはじめ、既存の返礼品はセット内容の見直しや個数など、寄附をしようとする方の様々な希望や需要に応えられるよう、バリエーションを増やす取り組みにつなげている。令和6年度は、寄付額2億円を目指し、若手職員を中心としたふるさと納税ワーキンググループを立ち上げ、全国的な寄付の傾向や返礼品の作り方、ポータルサイトごとの特徴などを分析しながら取り組みを進めている。ふるさと納税は、自主財源を確保する貴重な手段であり、今後もワーキンググループでの検討とともに、事業者の皆様のご協力をいただきながら、令和7年度は、3億円を目標にふるさと納税の寄付増額につながる取り組みを進めていく。



菅原 規正 議員

ふるさと納税の寄附額については大きな目標が必要なのではなく、みんなで取り組んでいく

**問** 特産物の販売強化について、今後どう展開していくのか。

**答** 市長 J Aや生産者が持っている販売網を生かしながら、質の高い農産物の生産により商品価値を高めていく取り組みを進めることで、販売強化に努めていく。特産物の今後のPRについて、今後どう展開していくのか。

**答** 市長 県要望において、地球温暖化など環境変化に対応した果樹、野菜の安定生産対策や栽培技術指導について要望している。今後も関係機関と連携を図りながら、農家への支援や情報発信などを行い、持続可能な農業の推進に向け、今後も取り組んでいく。

**問** 地球温暖化による農作物問題に対する今後の取り組みは。

**答** 市長 県要望において、地球温暖化など環境変化に対応した果樹、野菜の安定生産対策や栽培技術指導について要望している。今後も関係機関と連携を図りながら、農家への支援や情報発信などを行い、持続可能な農業の推進に向け、今後も取り組んでいく。

**問** 地球温暖化による農作物問題に対する今後の取り組みは。



きゅうりの収穫風景



戸来 守和 議員

有事の際の水資源確保は  
井戸・地下水の活用を含め  
検討する

**問** 井戸・地下水の活用を含め検討する

**答** 市長 大規模災害時の代替水源としての地下水の利用は、有効な手段の一つとして認識しており、他の団体では地域防災計画に位置付けるケースもあると聞いている。現状としては、プールや防火水槽などを利用した水源の確保に努めるとはしているものの、市内の井戸や地下水の利用状況などを把握することは難しいと考えている。ただ、給水に関する問題は非常に重要であると認識している。

**問** 大規模災害時の代替水源としての地下水の利用は、有効な手段の一つとして認識しており、他の団体では地域防災計画に位置付けるケースもあると聞いている。現状としては、プールや防火水槽などを利用した水源の確保に努めるとはしているものの、市内の井戸や地下水の利用状況などを把握することは難しいと考えている。ただ、給水に関する問題は非常に重要であると認識している。

**問** 大規模災害時の代替水源としての地下水の利用は、有効な手段の一つとして認識しており、他の団体では地域防災計画に位置付けるケースもあると聞いている。現状としては、プールや防火水槽などを利用した水源の確保に努めるとはしているものの、市内の井戸や地下水の利用状況などを把握することは難しいと考えている。ただ、給水に関する問題は非常に重要であると認識している。

**答** 市長 大規模災害時の代替水源としての地下水の利用は、有効な手段の一つとして認識しており、他の団体では地域防災計画に位置付けるケースもあると聞いている。現状としては、プールや防火水槽などを利用した水源の確保に努めるとはしているものの、市内の井戸や地下水の利用状況などを把握することは難しいと考えている。ただ、給水に関する問題は非常に重要であると認識している。

**問** 大規模災害時の代替水源としての地下水の利用は、有効な手段の一つとして認識しており、他の団体では地域防災計画に位置付けるケースもあると聞いている。現状としては、プールや防火水槽などを利用した水源の確保に努めるとはしているものの、市内の井戸や地下水の利用状況などを把握することは難しいと考えている。ただ、給水に関する問題は非常に重要であると認識している。



花巻市で導入している軟骨伝導イヤホン



金田一の樋の清水 地域の貴重な防災水源となりうる





高村 人司 議員

スポーツ少年団でハラスメントがあった場合の対処は必要ない指導を行う

問 市教委へのハラスメント等の相談事例について伺う。

答 教育長 市教委への相談事例については、いくつかあった。まずは、相談内容を整理し、関係機関とも情報共有しながら、事実確認を行った上で必要な対応をしてきた。

問 二戸市でスポーツツーリズムを行うための取り組みについて伺う。

答 市長 観光とスポーツを結びつけたスポーツツーリズムの事例は、昨年8月に当市で開催された第50回東北総合体育大会剣道競技がその一例であったと認識している。東北各地から約450人の選手、役員が参加があった。当該大会



ハラスメントがない活動を



田口 一男 議員

スポーツ施設の稼働率や環境整備は状況に応じて対処する

問 長期にわたる未使用の屋外運動施設や施設内の狭い駐車場など体育施設の環境整備は。

答 市長 令和5年度の開館日はスポーツセンター全日稼働、浄法寺体育館は90%で、一般利用者が多数を占めている。屋内運動施設では年末年始のみ休館日。屋外運動施設は、冬場を除き学校施設も開放している。浄法寺体育館の駐車場は利用状況から既存の駐車場が十分対応している。また大会など多くの来場者が見込まれる時は、体育館裏手の中学校駐車場などで対応している。

問 2024年秋にも現行の健康保険証の廃止を目指したマイナ保険証への移行は。

答 市長 マイナ保険証の顔認証付きカードリーダーの設置は義務付けられており、市内の医療機関や薬局などほとんどの施設で導入済みとなっているため、地域医療の崩壊にはつながらない。マイナンバーカードの利用者証明暗証番号の利用登録には3つの方法があるが、マイナ保険証の利用登録など詳しくは市役所で対応。マイナンバー



浄法寺体育館裏の駐車場



土佐野 淳 議員

2024年度全国学力学習状況調査及び質問調査の結果は「ICT機器を授業でどの程度使ったか」の項目で全国・県を大きく上回った

問 小学6年生と中学3年生を対象にした2024年度全国学力学習状況調査の結果について二戸市児童生徒の正答率を伺う。また、質問調査で岩手県が全国と比較して大きく下回った「ICT機器を授業でどの程度使ったか」の項目についても二戸市の結果を伺う。

答 教育長 正答率は小学6年生で国語が71%（全国比14ポイント）、算数が62%（全国比12ポイント）、国語が54%（全国比15ポイント）。中学3年生で国語が54%（全国比17ポイント）、算数が45%（全国比15ポイント）となった。また、「ICT機器を授業でどの程度使ったか」の項目は、ほぼ毎日と週3回以上と回答した児童生徒は、小学6年生は63.3%（全国

問 市内11校の小中学校の学校図書館を整備する学校図書館支援員が令和2年度には3名の配置であったが現在は1名である。減員の経緯と今後学校からの要望により増員の検討はなされないのか、財源の確保を含めて伺う。

答 市長 市で行う除雪業務の他に、市民協働除排雪車によって貸与した小型除雪機により歩道除雪を実施している。今後地域の皆様から協力をいただきながら冬期間の市道の安全確保に努めていく。

問 通学時、除雪車の通過により歩道が埋まり危険である。早急な対応が必要だと考えるが市長の見解を伺う。

答 市長 市で行う除雪業務の他に、市民協働除排雪車によって貸与した小型除雪機により歩道除雪を実施している。今後地域の皆様から協力をいただきながら冬期間の市道の安全確保に努めていく。



岩崎 敬郎 議員

二戸市の観光客増の方策は地域にあるソフト事業を絡めながら盛り上げていく

問 二戸市の拠点観光地として、天台寺・九戸城・金田一温泉の観光客増に努めているがその手段として方策は。

答 市長 施設だけでなく、地域にあるソフト事業を絡めながら市民の皆さんに参加いただき盛り上げていく。それぞれの方策として、天台寺は通年花のあるところに、九戸城の荒城の月の歌碑を利用する、金田一温泉はフルーツの里にするという考えは。

問 現状の出生数はどうなっているか。

答 市長 平成26年までは180名程度で推移していたが昨年度は94名、一昨年度は93名と100名を割る状態になっている。

問 産業短期大学校は駅前になるべきではないか。

答 市長 第三次総合計画の中で考えていく。



ICT機器活用授業

問 現在の複式学級を持つ二戸小学校、二戸西小学校、

答 市長 天台寺については寂聴さんお手植えのアジサイを一万本まで増やす。九戸城になじみのある旧南部藩の



寂聴さんお手植えのアジサイ



特集

# あした 君たちはどうする？未来の二戸市 《市内中高生と総務常任委員会 意見交換会》

前号に引き続き、意見交換会の様子をお伝えします。今回は、『福岡中学校』と『北桜高校工業校舎』で開催した様子です。

## 8/6 福岡中学校



## 10/30 北桜高校



今回の『議会だより』で、市内全中学、高校での意見交換会の様子を掲載することができました。事前アンケートを実施し、その結果を用いて10年、20年後に社会の中心的存在となる中高生の考えを知ることができました。アンケート結果や実際に話し合いをして感じたのは、生徒のほとんどが地元二戸市を”好き”と思っている一方で、将来の学業や職業のことを考えると”住む”ことを想定していないことが前回と同様に浮かび上がりました。このような生の声を政策に生かしていきたいと考えます。また、意見交換会を通じ、生徒の皆さんと議会の距離が少しは縮まったように思えますし、政治参画の意識醸成や主権者教育に寄与できたかと思えます。  
(編集 沼井 賢壮)

### 二戸市議会 総務常任委員会

- 沼井 賢壮 委員長
- 田川 晃 副委員長
- 高村 人司 委員
- 柴田 清克 委員
- 菅原 規正 委員
- 岩崎 敬郎 委員



畠中 泰子 議員

国の責任で増産・管理を  
するよう求めないのか  
既存の仕組みを  
十分に活用していく

**問** 物価高騰が続く中、市民を守る対策は。米不足では、市場任せをやめ、国の責任で米の増産・管理をするよう求めないのか。

**答** 市長 消費者物価指数は、令和2年7月比110.2で前年比3.3ポイントの増となり、市民や企業にとり、厳しい状況が続いているが、最低賃金引き上げや農作物販売価格増等の動きも見られる。現在行っている事業を着実に進めていく。現段階で市単独の支援策は予定していない。米の生産は価格の安定のため、基本指針により一定程度の生産目安を示されていることから、持続的な農業経営を支援するため、既存の仕組みを十分に活用して

**問** マイナ保険証の利用が極めて低調。現行の保険証と両立できるように働きかけるべきでは。

**答** 市長 当市の国民健康保険に限定したマイナ保険証利用率は令和6年6月診療分で14.2%。マイナ保険証のメリットを享受できるよう制度の周知に努め、マイナ保険証を保有していない方にも資格確認書の交付により、安心して受診できるよう丁寧な対応を心がけていきたい。

**問** PFASに関するPFAS（有機フッ素化合物）について

**答** 市長 PFASは様々な日用品に広く利用されているが、発がんリスクの増加など重大なリスクとなり得ることから、対策は極めて重要な課題と考え、当市でも、本年7月に上水道施設と簡易水道施設の水道水で濃度検査を実施した。結果は定量下限値の5ナノグラム未満であった。今後とも、積極的な監視及び管理を行い、問題の早期発見と迅速な対応を図っていく。



実りの秋、収穫がすすむ金田一地区の水田

## 令和6年8月臨時会

8月29日に令和6年8月臨時会が招集され、市長提出の議案2件、報告2件について審議を行いました。

- 令和6年度二戸市一般会計補正予算（第3号）【原案可決】  
県選出参議院議員の辞職に伴う補欠選挙にかかる経費並びに県選挙委託金
- 令和6年度二戸市水道事業会計補正予算（第1号）【原案可決】  
堀野浄水場集水装置の修繕費
- 株式会社カダルミライの経営状況について 【報告】
- 株式会社カダルミライエステートの経営状況について 【報告】

● 議会放送 お聴きいただき  
ご意見をお寄せください ●



カシオペアFMで一般質問の録音を放送していません。放送は19時～21時頃と9時～11時頃の2回です。放送日は一般質問終了後の調整となります（ホームページでお知らせします）。この放送についてのご意見、ご感想をお寄せください。

二戸市議会メールアドレス  
gikai@city.ninohe.iwate.jp



### 会議録の公開

本会議の会議録は、市役所1階情報公開コーナー、市立図書館、浄法寺カシオペアセンターに備えてあります。平成18年度以降の会議録は二戸市議会ウェブサイトから閲覧・検索することもできます。





紙面の中から答えを見つけてね！

## 議会だよりクイズ

下の○に当てはまる言葉（1文字）を入れてください。

一般会計歳出額は  
○○○億 6,942 万円です

★ 前回の答え…「意見箱」

## □ 応募方法

クイズの答えと住所、氏名、年齢、議会へのご意見や議会だよりを読んだ感想やご意見を必ずご記入のうえ、ハガキやファックス、電子メールにてご応募ください。

正解者の中から抽選で5人に「図書カード」1,000円分をお贈りします。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

※ご意見、感想等は議会だよりの紙面でご紹介させていただくことがありますのでご了承ください。（氏名非公開）

## □ あて先

〒028-6192 二戸市福岡字川又47  
二戸市議会事務局 議会だより 係ファックス 0195-23-1633  
メール gikai@city.ninohe.iwate.jp

## □ 締切

令和6年12月13日（金）  
※当日消印有効

## &lt;編集後記&gt;

9月定例会閉会から2ヵ月程を経てようやくみなさまのお手元に届く議会だより。私も当初は「もっと早く発行すればいいのに…」と思っていましたが、いざ編集作業に携わってみると、膨大な議会活動を18ページにギュッと要約し、なおかつ議論や発言の命である「表現」が変わる事が無いよう精査と内覧の繰り返しでこれだけの時間を要しています。その土台を作る人目には触れることの無い作業を担っている事務局職員のみなさんに感謝しつつ、より身近に議会の状況をお伝え出来るよう頑張ります。

(堀野 忠教 記)

みなさまの  
声を聞かせて！クイズにご応募いただいた  
皆さまからのご意見を  
ご紹介しながら、  
二戸市の今を考えます。

意見箱が設置されたことを初めて知りました。意見箱ならいつでも気軽に意見を言うことができありがたいです。

(堀野の方)

視察レポートの所感が有意義に記されておりました。又いつか議会を傍聴したいと思います。

(石切所の方)

運動ができる施設が減っていきるので運動できる施設を増やしたり企画を子供たち向け、またお父さんお母さん向けに発信するのもいいのではないかなと思いました。

(福岡の方)

このような冊子を発行する事で活動が広く知らされ、市議会、ひいては二戸市への関心愛着が深まります。ありがとうございます。

(野々上の方)

\* 広聴広報委員会  
委員長 戸来 守和\* 広報部会  
部会長 田口 一男  
副部会長 堀野 忠教  
委員 土佐野 淳  
田川 晃  
沼井 賢壮

## 議員定数を考える会開催のご案内

来る11月23日17時～19時、二戸市シビックセンター ホールにおいて【議員定数を考える会】を開催します。

現在市議会では、議員定数等調査検討特別委員会を随時開催し、現在の議員定数等について調査検討を重ねております。その調査の中で議員定数を現状維持、あるいは定数削減のいずれかにおいて議論と調査を進めており、現在の議員定数について市民の皆様にご意見をいただき、今後の委員会活動に役立てたいとの意向から、この会を開催するに至りました。

会場は入場無料でどなたでも傍聴できます。二戸市の未来を創る上でも大変重要なパネルディスカッションになろうかと思っておりますので、市民の皆様の多数のご来場をお待ち申し上げます。

議員定数等調査検討特別委員会  
委員長 戸来 守和

※会場は収容120名程度でございます。来場者多数の場合には入場制限を設ける場合もございます。

◆お問い合わせ◆

二戸市議会事務局 (☎ 23-1685)

## 議員定数を考える会



前回（平成26年12月開催）の議員定数を考える会の様子より

カシオペア連邦議会議員協議会  
創立30周年記念講演会を開催します

二戸管内の議員で構成するカシオペア連邦議会議員協議会は、創立30周年を記念して講演会を開催します。

- 日時 令和6年11月28日（木）  
午後3時～午後4時30分  
（午後2時30分開場）
- 場所 二戸市民文化会館 中ホール
- 定員 400人  
※入場無料 事前申し込み不要
- 講師 東京大学大学院 農学生命科学研究科  
特任教授 鈴木 宣弘 氏
- 演題 「今後の食糧情勢と日本農業の課題」
- 問い合わせ先 二戸市議会事務局  
(☎ 23-1685)







30周年を迎えた「浄法寺のねこ」と記念にパチリ！

# 声のひろば

KOE NO HIROBA

## 漆掻き職人

### 秋本 風香さん

2020年7月に【二戸市地域おこし協力隊うるしびと】に採用され、漆掻きとして今年で5年目になりました。

高校・大学と金工を学び、同じく伝統工芸である漆芸にはずっと興味がありました。就職を考え始める時期に、尊敬している漆芸作家さんから「国産漆の需要は高いけど、作家に回るほど供給が足りない」という話を聞き、ならば私が採取する側になろう！と二戸に来ました。

最近では、大学で学んだ鍛鉄の経験を活かして漆掻きの道具作りを学んでいます。職人さんがお休みの日など気軽に立ち寄り相談できるような鍛冶屋さんとして、今後も浄法寺に居られたらと思っています。

このコーナーでは、市民の皆さまのまちづくりに対する思いを紹介します。みなさまと一緒に、このまちの未来を考えていきたいと思っています。



二戸市議会のホームページ  
二戸市議会のメールアドレス

<http://www.city.ninohe.lg.jp/info/2148>  
[gikai@city.ninohe.iwate.jp](mailto:gikai@city.ninohe.iwate.jp)

右のQRコードからも  
ホームページにアクセス  
できます→

